



『東北圏だより』

『官民連携による震災復興を考えるシンポジウム in 仙台』の開催について

国土交通省 総合政策局 官民連携政策課

東日本大震災からの本格的な復興を推進するためには、民間の資金、経営能力、技術的能力を最大限活用するための仕組みを導入することが有効であると考えられます。

国土交通省では、「東日本大震災復興対策本部の方針」（平成23年7月）を踏まえ、平成24年度から28年度までの5年間の支援事業として、「震災復興官民連携支援事業」を創設し、東日本大震災で被災し、震災復興に官民連携手法の活用を検討する地方公共団体等に調査委託費を助成することにより、震災復興にかかる官民連携事業の案件形成を促進してきました。

このたび、官民連携による震災復興のより一層の普及促進を図るため、国土交通省では、『官民連携による震災復興を考えるシンポジウム in 仙台』を開催することとしました。

本シンポジウムでは、官民連携を通じた震災復興事例を紹介することで、東北地域をはじめ、様々な被災地における復興事業の一層の推進が図られることを期待します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【シンポジウム開催概要】

- ・日 時：平成29年2月23日（木）13:00～16:00
- ・会 場：仙台国際センター 大会議室「萩」
- ・主 催：国土交通省総合政策局、河北新報社
- ・内 容：
 - ◇基調講演 テーマ：「官民連携が切り開く東北復興の未来」
大滝 精一 氏 東北大学大学院経済学研究科教授
 - ◇事例発表 ①「官民連携による災害公営住宅の整備について」
②「民間活力を活用した復興まちづくりについて」
③「門前町の歴史を活かした地或活性化について」
 - ◇パネルディスカッション
テーマ：「官民連携による震災復興と地或活性化の展望」



※プログラム、参加申込み方法等の詳細は、国土交通省のホームページをご覧ください。

→ http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21_hh_000053.html

※申込みが応募締切り（2月13日）を過ぎる場合には、事務局までご連絡ください。

「東北地方における農福連携推進フォーラム」の開催について

東北農政局

「ニッポン一億総活躍プラン」（平成28年6月2日閣議決定）において、農福連携の推進が位置づけられるなど、障害者の就労訓練や雇用の場として農業分野に注目が集まっており、東北地方においても農業分野での障害者の就労が様々な形で進みつつあります。

全国の取組事例や管内の実践者の活動を紹介することで、東北地方における農福連携が更に広がるよう、農福連携推進フォーラムを開催いたします。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

【フォーラム開催概要】

- ◆日時：平成29年2月23日（木）13：30～17：15
- ◆場所：宮城県管工事会館 9階大会議室（仙台市青葉区本町三丁目5番22号）
- ◆主催：東北農政局
- ◆後援：東北厚生局、宮城労働局
- ◆内容

◇基調講演 「はじめよう農福連携！～全国で広がる農業分野での障害者就労～」
農林水産政策研究所 企画広報室長 吉田 行郷 氏

◇取組事例発表

（農業側からの取組）

農事組合法人田尻アグリワーカーズ 代表理事 佐々木 洋志 氏

日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会

センター事業団 東北事業本部 事務局長 小澤 真 氏

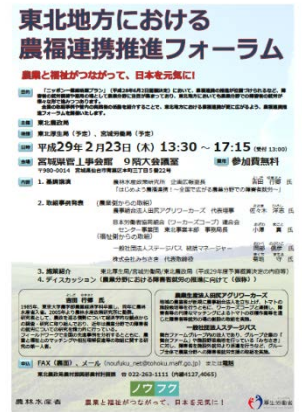
（福祉側からの取組）

一般社団法人ステージパス 統括マネージャー 岡部 信彦 氏

株式会社みちさき 代表取締役 菊地 守 氏

◇施策紹介 東北厚生局/宮城労働局/東北農政局（平成29年度予算概算決定の内容等）

◇ディスカッション（農業分野における障害者就労の推進に向けて（仮称））



参加申込方法等の詳細は下記ホームページをご覧ください。

→ <http://www.maff.go.jp/tohoku/press/nouson/nousonsinkou/170120.html>

「東北地域における農泊推進シンポジウム」を開催します

東北農政局

「明日の日本を支える観光ビジョン」において、日本ならではの伝統的な生活体験と非農家を含む農村地域の人々との交流を楽しむ「農泊」の推進が位置づけられ、「農林水産業・地域の活力創造プラン」においても、農泊によるインバウンド需要の取り込みが位置づけられています。

こうした動きを踏まえ、農泊に係る優良事例を紹介し、今後、地域の所得向上に向けた農泊の取組をより一層推進するため農泊推進シンポジウムを開催することといたしました。

シンポジウムでは、宮城学院女子大学宮原教授による基調講演や宿泊受け入れ者、中間支援組織より取組事例を紹介していただくほか、基調講演者、事例発表者に加え、旅行業者、行政の皆さんによるパネルディスカッションを行います。多くの皆様のご参加をお願いいたします。

【シンポジウム開催概要】

- ◆日時：平成29年2月28日（火）13時00分～16時30分
- ◆場所：エル・パーク仙台 スタジオホール
（仙台市青葉区一番町4丁目1番1号（141ビル6階））
- ◆主催：東北農政局
- ◆後援（予定）：東北運輸局、東北森林管理局、仙台漁業調整事務所
- ◆内容

◇農泊推進施策等に関する情報提供 東北農政局 他

◇基調講演 テーマ：「農泊の推進による東北の魅力発信に向けて」
宮原 育子 氏 宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 学部長

◇事例発表 伊藤 幸太郎 氏 喜多方市グリーン・ツーリズムサポートセンター 理事長
大森 友子 氏 農家民宿 Agriturismo 大森家



◇パネルディスカッション

テーマ：～地域に人を呼び込むための仕掛けづくりとその工夫～

コーディネーター：宮原 育子 氏 宮城学院女子大学 現代ビジネス学部 学部長

パネリスト：伊藤 幸太郎 氏 特定非営利活動法人 喜多方市グリーン・ツーリズム
サポートセンター 理事長

大森 友子 氏 農家民宿 Agriturismo 大森家

齋藤 充利 氏 (株) 農協観光 営業企画部長

大泉 勝利 氏 東北農政局 地方参事官 (特命・事業計画)

詳細は下記ホームページをご覧ください。

→ <http://www.maff.go.jp/tohoku/press/nouson/nousonsinkou/170208.html>

※ホームページから参加申込みが出来ます (先着順)。

第31回東北圏広域地方計画協議会検討会議幹事会 開催報告

東北圏広域地方計画推進室

去る1月25日(水)に第31回東北圏広域地方計画協議会検討会議幹事会が開催されました。これまで各種会議を開催し、計画推進の体制や方針等について議論してきましたが、今回の幹事会において、①計画の推進体制(原案)、②広域連携プロジェクトの推進(原案)、③計画のフォローアップ(原案)について、提案・議論を行い、各構成機関より了解が得られました。

今後は、2月13日開催予定の第10回東北圏広域地方計画協議会検討会議において、合意形成を図る予定です。引き続きご協力の程よろしくお願いたします。



▲幹事会の様子

編集後記

1月もあっという間に終わり、2月に入りました。13日には第10回検討会議を予定していますが、今後も作業依頼をさせていただき予定です。年度末に向けて多忙な時期となる中、大変恐縮ではありますが、引き続きご協力をお願いいたします。

寒い日が続く、風邪やインフルエンザ等で体調を崩す方が多くなっていますので、体調管理には十分お気をつけください。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp